

# 松ぼっくり

## ◆国松石材株式会社

発行所/国松石材株式会社

本社 福岡市博多区下呉服町 8-35

営業本部 粕屋郡志免町南里 11-5

Tel 092-957-3500 / Fax 092-957-3505

呉服町 福岡市博多区中呉服町 6-1 善導ビル

ギャラリー Tel 092-291-2454 / Fax 092-291-2456

墓石ガーデン 福岡市東区香椎 472-3 (三日月山霊園下)

Tel 092-672-7257 / Fax 092-672-7258

工場 福岡市東区松田 3 丁目 16-12

Tel 092-629-1189 / Fax 092-629-2043

ホームページ http://www.kunimatu.com

### 2007年秋号

近代演劇の祖

# 川上音二郎

オッペケペー

オッペケペー

この掛け声、節まわし、どこかで聞かれたことはありませんか？

今回はこの「オッペケペー」を広めた、博多生まれで近代演劇の祖といわれる川上音二郎を調べてみました。



▲忠臣 児島高德を演じる音二郎

明治二十六年（一八九三）には美人で芸事も達者、東京一の売れっ子芸者の貞奴と結婚。貞奴は舞台にも立ち、日本初の女優となります。

貞奴の美貌と才能はヨーロッパでの川上一座大ブームに一役かっています。着物からデザインされた、ヤッコドレスが大流行、ヤッコという名の香水も発売されました。また、パリ万博で公演した際には、十八歳の若きピカソが熱心にスケッチしていたといえますので、世界にも通用する美人、魅力的な女性だったのでしょう。

魅力的だったのは貞奴だけではありません、もちろん、われらが音シャンも大活躍、アメリカだろうがヨーロッパだろうが音二郎パワー炸裂で、「歌舞伎もろくにできないくせにヨーロッパで、これが歌舞伎でござい、というのには国辱も甚だしい。」という酷評にも「誰も行かんから俺が行ったんであって、そんなことを言うならそういう人が行けばいいじゃないか。」と頼もしい発言。

ヨーロッパではロシア皇帝から金時計を、フランス政府からはアカデミー賞が授与されています。

文久四年（一八六四）元旦、音二郎は博多中対馬小路（現・福岡市博多区古門戸町）に生まれました。

明治十年（一八七七）、十四歳で上京した音二郎は、寺の小坊主や福沢諭吉の書生、警察官など職を転々とした後、自由党の壮士となり、大勢の聴衆の前に立ちます。言論の自由などなかった時代、「政府を非難する過激な内容」と何度も刑務所送りになったといえます。

日に日に自由民権運動の取り締まりも厳しくなり、何とか警察に邪魔されずに

演説できないものかと考えた音二郎は「オッペケペー」をはじめます。「オッペケペー」とは、世間の出来事を面白おかしく語るといって高座の芸のひとつでしたが、たいして評判にもならず、それほど人気もなかったそうです。ところが、音二郎がこれを自由民権運動にからませはじめてから評判になり、川上音二郎といえは「オッペケペー」、壮士芝居といえは「オッペケペー」と言われるようになったのです。

明治二十四年（一八九一）音二郎は川上書生芝居を創立。歌舞伎を中心とした旧来の芝居に対し、新しい芝居を始めます。

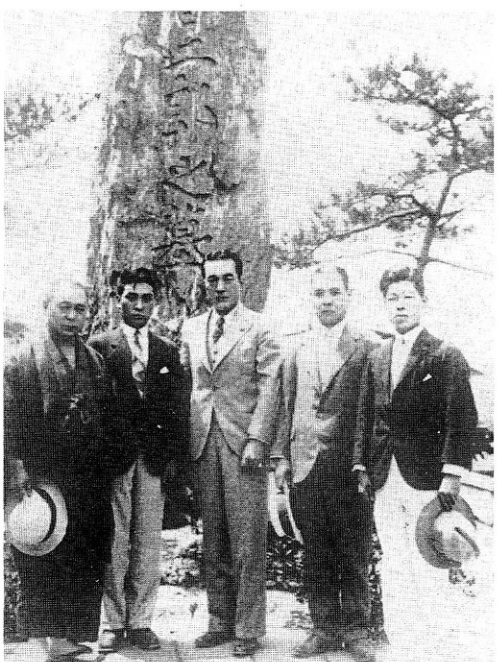
成功を収めた音二郎は大阪に、日本初の近代劇場である「帝国座」という自分の劇場を作ります。音二郎は舞台上での成功に努めただけでなく、入場料を引き下げ、切符制度を採用、開演時間の短縮を図るなど演劇の興行形態の改革も行い、誰でも気軽に芝居を楽しめる機会を増やしたのです。故郷博多での公演の際にも、小学生や女学生、郵便員、鉄道員らを無料で招待しています。

明治四十四年（一九一一年）、音二郎は舞台上で倒れ、そのまま意識不明となります。もうダメだという日に、劇場の舞台に連れて行ってと、担架で舞台に運ばれます。愛した舞台の上で愛する貞奴に見守られる中、音二郎は息を引き取ります。十一月十一日（四十八歳）のことでした。葬儀は四キロの行列に沿道を埋め尽くすほど多くの人々が集まり、音二郎の死を悼みました。



—音二郎のご親戚の川上浩様に取材御協力いただきました。ありがとうございます。

写真上：「楠公 桜井の駅の決別」東公園にあった博多座の柿落とし（明43.11）  
写真左：川上音二郎の墓に詣でる早川雪洲（雪洲は音二郎の姪、青木つる子と結婚している）



音二郎のお墓は、承天寺（博多区）にあります。「死んだ後も業火の熱い火で焼かれるのはすかん。絶対に土葬にして欲しい」という遺志により、土葬にされているそうです。演劇に対する文化的評価が非常に低かった時代に、海外で見たシェークスピア劇や児童劇、近代舞台装置をどんどん取り入れて演劇の改革をした音二郎の功績はたいへん大きなものです。現在、博多には劇団四季の常設劇場である「福岡シティ劇場」、演劇専用の劇場「博多座」などの大きな劇場ができ、演劇を楽しむ機会も増えました。芸術の秋、劇場に脚を運んでみてはいかがでしょうか。

## 散骨

お盆も過ぎ、暑さも和らいで、本や雑誌を読むのに心地良い季節になりました。近年、お墓や葬儀関係の特集として、散骨が取り扱われるようになりました。一般にも耳にする事が多いのではないのでしょうか。

そこで今回は、散骨を御紹介します。「散骨」とは、遺骨をお墓に納骨せず、細かく砕いて海や山の自然の中に還す葬法です。自然葬とも呼ばれています。

散骨場所で区別すると、海、野山、川への散骨があります。海への散骨は、船、ヘリコプター等により行われます。場所としては、陸地より二十〜三十キロ離れた海域で、魚場、釣り場、海上交通など要所以外の区域です。ハワイ、カリフォルニア、オーストラリア等の海外でも行われています。

野や山の散骨では、山の頂きや個人の所有地、自然葬を望む会の所有地への散骨などがあります。

海外では、モンゴルの草原やガンジス川等様々です。

散骨の方法としては、葬儀社により異なりますが、基本的にはご遺族の方が、遺骨を布の袋に入れて金鏈等で2ミリ以下の粉末状にして、それぞれの乗り物より散骨します。

また、変わったものでは、宇宙葬もあります。宇宙葬は、個人の遺骨を専用カプセルに入れ、衛星ロケットで地球軌道上に打ち上げます。衛星は、十年間軌道上を飛ばようです。ちなみに費用は渡航を除く諸経費で百万円です。

散骨は、それまで「自然葬は刑法の遺骨遺棄罪に触れる」との見方もありましたが、平成三年に行われた散骨の葬儀に対して、法務省は「節度をもって行われる限り問題はない」と初の公式見解を発表しました。旧厚生省も墓地以外での埋葬・埋蔵を禁じた墓地・埋葬法の想定外のケースという判断を下しました。（毎日新聞）それにより今では、社会的合意ができて上がっています。

また、散骨以外に岩手県のお寺では、平成十一年より樹木葬を行っています。樹木葬は、『深さ約五十センチの穴を掘って遺骨を埋め、ヤマツツジなど七種類の中から自分が選んだ花木を植える。』（日本経済新聞）方法です。

このように、散骨も様々な方法があり、自然に還りたいという故人の希望をかなえているようです。

しかし、残されたご遺族は、故人を偲ぶ対象物が欲しいものです。実際に、散骨をしている会社がメモリアルグッズとして、遺骨の一部を残しておく商品等をお薦めしているのは、そのような理由からでしょう。日本で散骨が行われるようになってまだ十年余りです。これから方法もますます多様化していくことでしょう。

どんなに埋葬方法が変化しても、ご先祖様を供養する気持ちは、大切にしていきたいものです。供養する者、される者が納得した形での供養が一番ではないでしょうか。

## 町名 散歩

### 第3回

#### 対馬小路

第三回目は、今回の特集でも取りあげた対馬小路（現在は古門戸町付近）の歴史を、紹介します。

この町は豊臣秀吉の時代に、対馬小路という町名になりました。当時、町の北側には海があり浜だったため、舟着き場や魚市場ができて、隣の須崎町と共に栄えました。昔のなごりを思わすような木造の古い問屋が、今も所々で見受けられます。

むろん今では海はありませんが、博多座を抜けて北の方へ進み昭和通りを越えると、沖濱稲荷神社があります。ここに、旧対馬小路と町名が刻まれた石碑が建てられています。

また、この町からは川上音二郎を始め、玄洋社の社長であった平岡浩太郎や、中洲券番を設立して、中洲の発展へと導いた伴蜂籠など、歴史上に名前を残した人々が多数この町から輩出されています。

現在は、小さな問屋街となり、人通りも少なく、昔栄えていた頃の威勢のよさは感じられませんが、耳を澄ますと舟着き場で働く男性の活気のある声がかすかに聞こえてきそうな気がしました。





# 何でも質問コーナー



Q

墓石の清掃はどのくらいの周期ですべきですか？

A

一年に春、夏、秋の三回だけのお墓参りでは雑草が伸びるのはもちろんのこと墓石の汚れは重なっていくことだと思います。汚れが重なると落ちにくくなりますので、少なくとも月一回のお墓参りは必要になると思います。年回法要、祥月命日また、家族の近況なども事あるごとにご先祖様へ報告に行きたいものです。墓石を清掃するのに、ひしゃく、桶、ほうき、ちりとり、たわし、タオルを持参するとよいでしょう。ほこりや鳥の糞、植物の葉などを放置したままにしておくと、石の変色や劣化の原因となります。なるべく頻繁に水拭きをすると、表面の光沢を永年保つことができます。

Q

灯籠の持つ意味とはどんなことですか？  
また、灯籠の種類はどのようなものがありますか？

A

灯籠とは、戸外に設け、その照明とする灯火用具（小学館・国語大辞典）とされているように本来は照明道具として使われてきましたが、現在では神仏に灯明を献ずるためのものがほとんどです。献灯の目的は、報恩（おんがえし）、菩提（極楽浄土に往生し仏果を得ること）、<sup>まごくしやう</sup>逆修（生前に自分のために仏事を修して死後の冥福を祈ること）、さらには一家の繁栄やさまざまな記念などのためのものが多いようです。神仏のほか、庭園に設けて鑑賞を目的とする灯籠もあります。

灯籠を形の上で大別すると、台灯籠とつり灯籠に分けられます。台灯籠はさらに、立て灯籠、置き灯籠に、つり灯籠は下げ灯籠と掛け灯籠とに分けられます。材料によって石灯籠、金灯籠、木灯籠に分けられます。

〔参考資料「PHP 研究所 改定版 神道がよくわかる本」〕

## 第1回「松ぼっくり杯」ゴルフコンペ開催の御案内

開催日 平成14年10月26日(土) 9時32分スタート(集合8時45分)

開催コース 福岡サンレイクゴルフ倶楽部

三池郡高田町大字上楠田1188(九州自動車道太宰府I.C.より約45分)

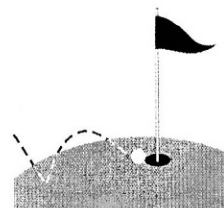
参加費 3,800円(プレイ費、パーティ費込み)

募集人員 20人(5組)

お申し込み 同封の葉書でお申し込みください ※締め切り:平成14年9月30日(月) 必着

現在仮オープン期間中のため、5人乗り乗用カートによる完全セルフプレイで、9ホール×2ラウンド=18ホール、仮設ハウスでのシャワールーム利用となります。ご夫婦、ご友人お誘いの上、ふるって御参加ください!! 優勝ほか、各賞あります。詳細は後日ご連絡いたします。

◎お問合わせ:フリーダイヤル0120-245400担当の田中迄お願い致します。



### プレゼント当選者発表

厳正なる抽選の結果、次の方々当選されました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

#### ①全国共通お食事券 5,000 円分

石橋 由美子様、石本 磯右衛門様、徳永 武夫様、沼田 聡様

#### ②太宰府天満宮厄除ひょうたん酒器セット

木村 ハルエ様、袈裟丸 充土様、徳安 勝長様、山本 文雄様、(株)三浦宣伝様

#### ③高取焼(片口)

棧 熊獅様、木部 明様、笹栗 暢和也、長野 悠様、矢野 キセ様

#### ④太宰府のおみやげ

石蔵 利光様、他 19 名様

お墓に関することでお悩みがあれば、どのような事でも同封のハガキにてお寄せ下さい。

抽選で素敵なプレゼントもご用意させていただいております。詳しくはハガキをご覧下さい。

